

マウスシールドを寄贈

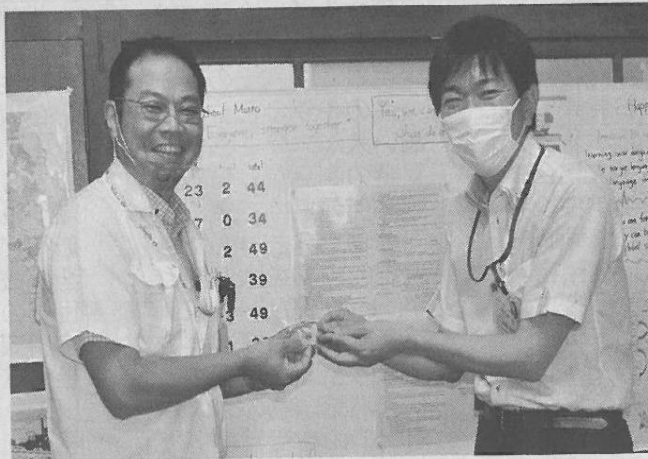
武蔵精密工業が豊橋八町小へ

自動車、二輪の部品メーカー「武蔵精密工業」（豊橋市植田町、大塚浩史社長）は31日、豊橋市立八町小学校へマウスシールド180個を寄贈した。自社設計し、3Dプリンターを使って作った大人用と子ども用各90個を贈った。八町小は、英語のみで国語や算数などの授業をする「イマージュン教育」をしている。英語の発音の際、口元が見えることが重要となるため、寄贈先に決めた。贈呈式が校長室であ

り、前田大執行役員が、佐藤充宏校長に手渡した。佐藤校長は「コロナ禍の中、教員はマスクを着けて授業をしているが、英語の発音で口元が見えない課題があった。これで解決できる」と感謝した。前

田執行役員は「他校でも要望があれば、マウスシールドを寄贈します」と話していた。

【竹下貴信】



マウスシールドを佐藤校長(左)に手渡す前田執行役員(右)＝八町小学校で